

# I 総説

## A 開設科目および卒業要件単位数

### 1 開設科目

授業科目は、基礎科目、専門科目、自由設計科目、および教職関連科目の4つの分野から構成されている。なお、専門科目のうち、ゼミナールについては、2025年度から開設科目の変更を予定している。

### 2 卒業要件単位数

卒業要件単位数は**124単位**であり、基礎科目、専門科目、および自由設計科目の3分野から**第1表**に示す規定単位数を修得しなければならない。

### 3 履修上の注意

履修に当たっては、後述の履修単位制限および2年次から3年次への進級基準に十分注意すること。

第1表 経済学科 開設科目および卒業要件単位数

分野	区 分		規定単位数		
基礎科目	語学	英語	8		
		第二外国語	6		
	基礎数理		4		
専門科目	ゼミナール		10		
	専門基礎必修科目	ミクロ経済学入門・演習 マクロ経済学入門・演習	6		
	専門基礎選択科目		16		
	専門選択科目		36		
自由設計科目	推奨科目	専門選択関連科目	20		
		法学関連科目			
		教養科目			
	全学共通教育科目	リテラシー科目群		WRD、IT科目	
		教養科目群		系列科目の一部(注6)	
		キャリアデザイン科目群(注7)			
		国際交流科目群(注8)			
	データサイエンス科目群				
	一般科目	全学共通教育科目		リテラシー科目群	外国語科目
				教養科目群	総合科目、成城学、 系列科目の一部(注6)
スポーツ・ウエルネス教育科目(注9)					
他学部開設科目(注10)					
教職関連科目(注11)			-		
合 計			124		

#### 〔第1表の注意事項〕

- (注1) **基礎数理**の規定単位数を超えて修得した単位は、**推奨科目**に充当することができる。
- (注2) ゼミナールの規定単位数を超えて修得した単位は、**専門基礎選択科目**に充当することができる。
- (注3) **専門基礎選択科目**の規定単位数を超えて修得した単位は、**専門選択科目**に充当することができる。
- (注4) **専門選択科目**の規定単位数を超えて修得した単位は、**推奨科目**に充当することができる。
- (注5) **推奨科目**の規定単位数を超えて修得した単位は、**一般科目**に充当することができる。
- (注6) 系列科目は推奨科目と一般科目に分けられる。詳細は、「経済学科授業科目一覧表第3表(p.36)」を参照すること。
- (注7) **キャリアデザイン科目群**には、卒業要件単位に算入されない科目がある。履修規定を参照すること。
- (注8) **国際交流科目群**のうち、「留学対策科目」と「留学準備演習」は卒業要件単位に算入することができない。
- (注9) **スポーツ・ウエルネス教育科目**は、**4単位**まで卒業要件単位として認められる。
- (注10) **他学部開設科目**は、**8単位**まで卒業要件単位として認められる。
- (注11) 教職関連科目の修得単位は卒業要件単位としては認められない。